

全司法労働組合青年協議会発行「時の窓は、青年みんなに配りましょう」



ときのまど

時の窓

No. 243



[青年協HP]
※時の窓バック
ナンバー掲載

組合に加入してみたい方はこちら↓

～今月号のメニュー～ ●ユニオンユースアカデミーin愛知
●夏の国公青年セミナー2023



ユニオンユースアカデミーin愛知～観光しつつ平和学習～

6月17日～18日、愛知県でユニオンユースアカデミーが開催され、**全司法からも6名が参加**しました！これは、全労連青年部（民間含む労働組合の連合体の青年部）主催の交流や学習を深めることを目的とするイベントで、今年**は愛知で観光やビアガーデンを楽しみながら、平和について学びました。**



1日目

INAXライブミュージアムでフォトフレームを作ったり、半田の赤レンガ建物でビールの試飲をしたりしました。

赤レンガ建物の外壁には、戦時中に小型機による攻撃を受けた痕が残っていて、「当時、地上から小型機に乗っている人の顔が見えた」という生々しいお話も語り継がれているそうです。ガイドの方は、「ビールを作れるのは平和だから。今後も平和を守っていきたい。」とおっしゃっていました。



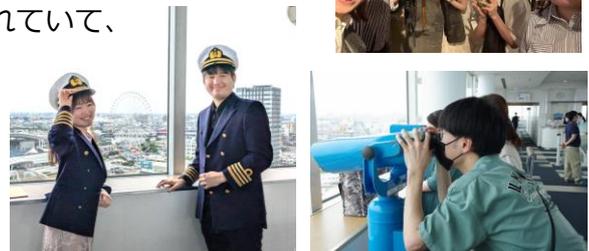
夕食はビアガーデンでBBQ

2日目

名古屋港海洋博物館見学や水族館のバックヤードツアーに参加しました(^^) / 名古屋港では洋服、車の材料、原料など様々なものが運ばれていて、



日本に与える経済効果は、年間約56兆円にも上るそうです。港で働く方は、「港は生活に関わりが深いからこそ、戦争が起こったら真っ先に攻撃対象になってしまう。港で働く者として、平和を守ることは他人事ではなく自分自身の問題なんだ。」とおっしゃっていました。



9月16日～18日には、**全労連東海北陸ブロックでサマーセミナー**も開催されます！東海北陸以外の地域の方も参加できるそうです。興味のある方は参加してみてください♪

4年ぶりのリアル開催決定

全労連・東海北陸ブロック青年交流会

第30回記念サマーセミナー

開催日時：2023年9月16日（土）午後～
9月18日（月・祝）正午ごろまで

開催地：愛知県・ホテルサンパーク犬山（愛知県犬山市犬山甲48-3）

詳細は第2弾のチラシで案内します

今までサマーセミナーで活躍された実行委員のみならず！第30回と一緒に盛り上げませんか？！/ 同窓会？企画あるかも！vお待ちしております！

サマーセミナー

夏の国公青年セミナー2023

6月25日～26日、夏の国公青年セミナー2023が開催されました！1日目には座学の学習会と班別交流、2日目には人事院、内閣人事局、財務省と交渉をしました。



1日目

「給与制度のアップデート」学習会

国公労連の笹ヶ瀬さんを先生に、給与制度のアップデートについて学びました。若年層の労働条件は改善されるかもしれないけれど、**中高年層の労働条件が悪化しないか、注視**する必要があることなどの説明を受けました。

勉強中です



班別交流

翌日の交渉に備えて、職場実態を出し合いました。他の省庁では、「**人事評価で年休取得を目標にするよう指導される。目標を達成できなければ評価に影響するので、年休の日もこっそり出勤している。**」といった問題のある運用がはびこっているようです。

2日目 交渉

人事院交渉



賃金や超過勤務等について改善を求めました。「通勤手当として**特急料金も支給してほしい**。お金がないので**片道2.5時間かけて通勤**していた後輩もいる。」「**長時間勤務で職場のみんなが辛そうな表情**をしている。」といった実情を伝えました。回答はおおむね従前どおりのものでしたが、熱心に話を聞いてもらえました。



交渉後は喫茶店でランチしました

内閣人事局交渉

人手不足解消や非常勤職員の無期転換等を求めました。回答は、人員に関しては「業務を見直して合理化（減員）していく必要がある」、非常勤の無期転換に関しては「公務の性質上難しい」という趣旨のものでした。

財務省交渉



★ ★ ★ 宿舎の戸数確保や宿舎設備改善等を要求しました。回答は、必要戸数等の調査を行っていること、**水回りのリノベーションやモニター付きインターホンの設置を行う予定**であることなど、前向きなものでした。また、**今の若者が考える「普通」の宿舎を作りたい**旨も述べられました。



給与制度のアップデートとは？

人事院が給与制度の変更を検討しているものです。人事院は、社会情勢が急速に変化する中で、質の高い行政サービスを国民に提供し続けるために、給与面においても諸課題（若い世代の誘致・確保、積極的な中途採用や機動的で柔軟な配置・登用のニーズ、採用者の年齢・経歴や採用後のキャリアパスの多様化等）に対応できるよう、社会と公務の変化に応じた給与制度のアップデートが必要だとしています。具体的な内容は明らかになっていませんが、給与カーブがフラットになり、中高年層の賃金が減らされること等が懸念されています。